

3.

(1) 骨盤を離断する手順を書きなさい。

(2) 次の症例について答えよ。

2ヵ月女児。右下腹部と鼠径部の腫脹に母親が気付く近頃受診、腹腔内腫瘍の疑いにて当科に紹介となった。来院時、腫瘍直上の皮膚の発赤・腫脹を認め、また臍より腫の排泄を認めた。腹部CTでは臍と腹壁の腫瘍に連続性が疑われた。手術で腹壁腫瘍の摘出を試みたところ、腫瘍は臍癌であり、右臍動脈に沿って臍と連続する瘻孔を形成していた。臍下部に小切開を追加し、瘻孔を摘出。術後経過は順調である。本例のように臍炎より臍動脈索を介して腹壁腫瘍を形成した報告は稀。

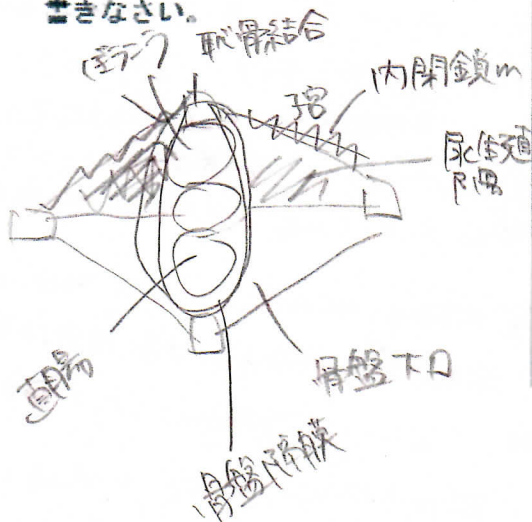
問. さらに進行した場合、臍癌はどの場所に形成されると考えられるか。根拠を含めて説明しなさい。

膀胱. 臍動脈索(上臍動脈と連絡する)

(3) 会陰部の解剖が進み、尿生殖溝膜を指で挟むことができたという条件で、骨盤隔膜、内閉鎖筋を触診するやり方を説明しなさい。

尿生殖間膜をつまみ指の裏側に当てる部分が骨盤隔膜である。
内閉鎖筋(つまんだ指をずらしこいけは)
たどりつける。

(4) 図1のCT画像で骨盤隔膜はどれか、矢印で示しなさい。そう判断した根拠を書きなさい。



坐骨

内閉鎖筋